

長坂ふれあい広場

2008

秋

vol.11

永年勤続 優良従業員 表彰

(主催：社団法人 愛知県鉄工連合会)
平成20年11月14日に表彰されました。

【推薦理由】多年同一事業所に勤務し、勤務状況が優秀で、
上司の信望も厚く、他の従業員の模範である。



昭和63年4月に入社して、丸々20年たちました。いろいろな人達に支えられての20年間で感謝の気持ちでいっぱいです。気づかないうちに体力が落ちる様な年代になっていましたが、これからもガンバって行きたいと思います。

試作部試作1課1係
三浦 文治さん

勤続年数：20年 6ヶ月

この度、勤続20年優良従業員表彰をいただきました。28歳で入社し今日までには、山あり谷ありで良いこと悪いこと色々ありましたが、20年間勤められたのは、決して自分ひとりだけではなく会社の皆さんや家族の助けや協力があっていただいていると思います。これからも、会社の発展のために頑張りますので、今まで同様よろしくお願いします。

試作部生産管理課検査係
小林 浩さん

勤続年数：20年 5ヶ月
(平成20年10月末日現在)

トヨタ博物館、リタケの森 見学を終えて



主 催 = 刈谷機械工業協同組合
開催日 = 平成20年9月13日
参加者 = 経営管理課 鈴木晴子、総務課 大久保雅章、深谷志保

9月13日に産業技術記念館、トヨタ技術記念館、リタケの森見学会に行ってきました。産業技術記念館の中は、繊維機械館と自動車館に分かれており、自動織機の移り変わりや、自動車のしくみと創業当時から時代に至る自動車技術と生産技術の移り変わりなど、普段ではなかなか見る事が出来ない「モノづくり」の内側を見学する事が出来ました。また、トヨタ博物館では、歴史を感じる車が多く展示されており、昔のひとがどんな想いで乗っていたのかを感じる事が出来ました。

(総務課 大久保雅章)

産業技術記念館では、織機の進化していく様子や自動車館内の展示で完成までの流れが分かり易くなっていました。その中でも、トヨタだった頃の車の塗装のラインの様子の展示部分で、私は社内でもとてもお世話になっているT氏の現役を見たかのような錯覚を感じました。当時の試作の様子も分かり易く今の技術と比較できる展示がされていました。

(経営管理課 鈴木晴子)

産業技術記念館では、自動織機の大きな機械、機械の速さに圧倒されました。自動車館内の展示は、とにかく完成までの流れがとても分かり易かった。また、体験コーナーもあり、風速体験室の中に3人共入り、実際に体感してきました。みんな顔の肉が小刻みに揺れ、お互い見たことの無い顔になっていました……。そんな事をしてたら、あっという間に時間が過ぎてゆき充実した1日でした。

(総務課 深谷志保)

’08クリーン活動!【社外】

開催日：2008年10月14日

今期より社外クリーン活動が年3回に変更になりました。10月14日火曜日午前8時より、今期2回目の社外クリーン活動が開催されました。この活動は当初より社員の自主的なボランティア活動で進めて来ました。清掃の対象場所は本社社屋周辺特に沿線沿いをターゲットに開始していました。当初の沿線沿いは草が生い茂りその中にポイ捨てされた空き缶やゴミ、中には粗大ゴミが沢山隠れていました。始業前の30分では、とても処理出来るものではありませんでした。したがって活動も殆ど毎月、社員総出で行って来ました。当時の思い出で一番苦労したのはゴミが泥で埋まった側溝、しかも草が根を張っていてクリーン活動が終わった時は、服が汚れてしまい着替えが必要だった事もありました。それが今、ゴミの温床である草の除去をし、ゴミを捨てにくくしました。側溝の泥も取り除き雨水も流れるようになりました。こうなれば、おのずと平気でゴミは捨てられません。さらに今年7月に西工場社屋横と第二駐車場の2箇所に『ポイ捨てボックス』を設置しました。暑い夏場は特に空き缶やペットボトルのポイ捨てが増えます。捨てる場所を設けることで、ポイ捨てを未然に防ぐ余裕も出来ました。

その結果、今回は活動中に『変だなー、ゴミがないなー』という声が聞かれ活動後には『歩き疲れました』と明るい声が聞かれました。事実、集まったゴミの量が2袋だけでした。以前は毎回10袋以上はあり活動後のゴミ処理も大変でした。お陰で活動後に毎回処分に行っていたのがステーション排出処理だけで済みました。

皆と共に築いた地道な努力が実ったと実感しました。

今後もキレイな地域づくりに貢献して行きたいと思っています。

皆さん今後共、ご協力をよろしくお願いいたします。

(総務課 小竹)



普通救命講習会開催!

衣浦東部広域連合消防局 刈谷消防署の方3名が講師として来社され、18名が受講しました。
全社員の約47%が受講したことになります。次年度以降も、新規受講者の枠を広げてゆく予定です。

開催日
2008年10月25日



救命救急講習会に参加した

製造部 生産管理課 杉田です。

心肺蘇生・人工呼吸のやり方、AEDの使い方を学びました。最初にビデオで基本の講習を受けて、次に消防士の方に指導を受けながらゴム製の人形をケガ人にみたとて、実践していくという流れで教えて頂きました。ゴム製の人形に声を掛けるのは、多少恥ずかしくはありましたが人ひとりの命を助けるという事が、非常に大変なことだと感じました。

救命救急講習会に参加した

試作部試作1課1係 佐竹です。

応急手当の方法・手順について習ったのですが、AED(電気ショックを行うための機器)の使用法以外は、知識としては持っているものでした。

しかし、実際に人形を前に実践してみると、なかなか上手く行動できませんでした。一番初めに行う、傷病者の反応を確認する手順ひとつだけでも、傷病者のどこに触れたら良いのか、迷ってしまいました。助けを求める手順にしても、どのように声をかければ良いか、とっさに出てきませんでした。人工呼吸・胸骨圧迫などの動作も、テレビ等では見えますが、行動してみると、上手くいかない事もありました。今回、この救命救急講習会に参加して、改めて実践の大切さを学びました。実際に身体を動かして、応急手当の演習を行う事によって、人の命の重さ、果敢なさを感じました。

今回の講習により、私が人を救えるようになったかどうかは分かりませんが、人の生死に、ほんの僅かなところで決まってしまう事を学べた事は、大変有意義だったと思います。

亀の子隊だより

'08年10月19日、日曜日これでもか!といわんばかりの晴ればれした日。風もなく、青空が広がり、日向ぼっこに最適かも?!という日、早朝から出かけて亀の子隊に参加してきました。

今回の参加者は、管理部の小竹課長、高橋さん、鈴木木の3人です。

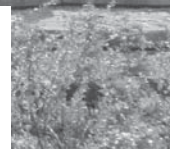
目の前に広がる内海(うちうみ)はきれいで、釣り人もいっぱいな砂浜。よく見れば人工物のゴミがわんさか。一番多く拾った気がするのがライターです。1個見つかるとそのまわりについてうじゃうじゃと湧いて出てきました。さすがに、漁業に使われる浮(うき)が、一つの景色に溶け込むように流れ着いていたのを見て目が点になりました。亀の子隊の事務局の鈴木春吉先生にその姿を見られて苦笑されたのは痛かったです。

1時間はあっという間に過ぎ、高橋さんと集めたゴミは袋いっぱいでした。

帰りは、のんびり海を満喫して帰りました。

早朝出発を除けば、楽しい小旅行気分ボランティアに参加できるので皆様がいかでしょうか?

(経営管理課 鈴木晴子)



ISO9001

内部監査

今回の定期審査にて、いままで適用除外だった「設計・開発」と「製造およびサービスの提供に関するプロセスの妥当性確認」が、当社の現状に即して追加審査が行われることとなった。

そのため今回の内部監査は、上記2点に重点を置いた監査が行われた。

多忙な中でチーム毎に内部監査に向けて懸命に取り組んでいる姿は、よりよいものにしていくという意気込みのあらわれでした。

今年度より、課が違えば同じ部内でも監査できるようになった為、深みのある監査が行われています。より一層磨いていけるのではないのでしょうか。

定期審査は、11月26日、27日、28日の3日間にわたって行われます。

(ISO事務局 鈴木晴子)

